



# CITY & LIFE

都市のしくみとくらし

№. 38 WINTER 1995

特集 ゴミとリサイクル

人が活動すれば必ず出る“ゴミ”。ゴミの量は1985年を境として80年代後半に急増した。これは私たちが生活の利便性・快適性を追求したことの結果である。ゴミの量や質は地域性・経済性・収集方法などにより大きく異なる。しかし、大都市の最終処分場は限界状態目前である。また、ゴミ問題は環境問題とも大きくかかわっており、今日ゴミ問題を考える時、リサイクルということを抜きに考えることはできない。生活系のゴミと事業系のゴミ。これらのゴミに対して、私たちはいかに対処していくべきか。さまざまな角度から考察していく。

C O N T E N T S

★=編集部

	リサイクル社会の構築に向けて	寄本勝美	2
	世界のゴミリサイクルシステム	織朱實	8
〈ルポ〉	ゴミを捨てる人、ゴミを捨てる生活	渡辺裕之	20
〈ケーススタディ〉	可燃ゴミを再び資源に— 栃木県野木町—	★	26
〈ケーススタディ〉	リサイクルで紙は甦る— オフィス町内会—	★	32
	リサイクルの現状	★	38
	ゴミ豆知識	★	7・15~19 31・37
〈都市を拓いた人々・21〉	富山	吉田豊	45
	バックナンバーのお知らせ		48
	INFORMATION		49